

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ときめき苑の理念は、エレベーター前に掲示しており、職員には入職時やミーティングで周知している。中和会の理念はユニットに掲示し、常に意識する事で日々の支援につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例年、御厨盆踊りの参加や年末の餅つきなど自治会長や地域住民の協力を経て開催し、交流も盛んに行われていたが、現在のコロナ禍では地域行事も開催されず交流は全くない。事業所としては、自治会長や地域住人と連絡を取り合ったりご挨拶などの交流は継続している。地域の古紙回収や公園に来られた方のお尋ねごとやトイレ使用には協力している。	コロナ禍以前は、年末のもちつき大会に参加して入所されている方々の嬉しそうな顔を見られていました。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の内容は、あらかじめ開催時期に合わせたテーマや趣旨で開催している。地域の方にも毎回参加して頂き入居者様及びそのご家族からも意見や要望を伺い真摯に受け止め今後のサービス向上に活かしている。現在は、コロナ禍により書面開催を2ヶ月おきを実施している。	会議は書面開催として毎回ご報告を拝見しています。色々取り組んでいます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	東大阪市福祉部指導監査室施設課とは、運営に関する相談や質問など随時行い協力頂いている。行政への提出書類は速やかに提出し指導があれば従い運営を行っている。	行政の通達は、全てメールに変更されており事故報告書の提出もメールで返信しています。今後も情報の共有と指導に努め運営を行います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会を3ヶ月に一度、各部署担当者を招集し実施している。年間の職員研修でも“身体拘束排除”をテーマに研修を実施し知識を深め防止に努めている。行動制限が必要な場合は、事前にご家族に説明し同意を頂き定期的な見直しを行っている。現在は事例無し。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回報告書の中に実情を書かれていますので内容は良くわかります。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を3ヶ月に一度、各部署担当者を招集し実施している。虐待防止についての職員研修を実施し、知識を深め職員全員で虐待防止に努めている。事業所内で虐待が見過ごされることが無いよう利用者の変化には注意を払い、虐待の危険を早期発見できるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度についての知識を深めるための研修参加は積極的に行っている。現在は研修開催の機会がないが、活用が必要な場合には関係機関に相談するようにしている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約に関する説明は、書類を提示しながら文章を読み上げゆっくりと分かり易く、丁寧に説明している。後日、不明な点等確認している。又、介護報酬の改定等の際にも重要事項説明書(別紙)を作成し同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で来訪の機会が減り、電話による近況報告を定期的に行い、その時に意見や要望を伺っている。また、運営推進会議ではご家族代表者には別に書面で意見を伺い運営に反映させている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	問題点を直に改善されていると思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課の個別面談を行い職員の意見や要望を聞く機会を設けている。運営に関しての意見や提案は、可能な限り反映させるよう努力している。職員ミーティングで職員から率直な意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のそれぞれの個性や年齢を考慮した働き方、やりがいのある職場環境に努めている。個々の能力を生かした働き方や労働時間など、職員の希望を働き方に反映させた環境作りを心掛け、意見や要望も真摯に受けとめている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別研修計画を作成し、年間の職員研修以外にメデイカルチーム主催の研修や外部研修など職員の力量に合わせ、必要な研修を自己選択し受講する機会を確保している。コロナ禍にて、集団での研修開催は開催できず、資料配布や外部研修のオンライン参加で知識を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在のコロナ禍では、各機関の交流会はほとんど開催されず、オンラインによる勉強会や研修などが主体となっており相互訪問等の同業者との交流も厳しい状況である。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は支援する側という観念を持たず生活の中で、入居者様と「共に過ごし、人生の先輩としての教えを学び、人として支え合い生きていく」という姿勢で関係性を築いている。また、「ひと言お便り」を、本人の写真付きで作成しその様子をご家族に伝えている。			入居する事本人が、家族と離れて寂しい思いをされていると思います。その点も良く配慮されていると思います。
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族だけでなく、友人や知人の方の訪問や電話の取次ぎ等本人が付き合いを続けられるような配慮をしている。現在は、オンライン面会や飛沫防止カーテンを装備した面会室で面会を実施している。	コロナ禍ではあるが、感染予防を徹底しワクチン接種者との面会の緩和や外出ができるような支援に努めています。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の支援の中で本人のあらゆる会話や行動、仕草から一人一人の思いや、意向を示すサインと捉え把握に努めている。また、本人の視点に立った話し合いなど、カンファレンスも実施し職員が情報を共有し思いや意向を把握するようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画作成担当者が中心となり、職員からの情報収集やカンファレンスを実施している。家族からは、意見などを電話で近況報告した際に聞き取りをしている。専門家からは、生活機能向上や口腔衛生管理などの指導を受け、主治医からの居宅療養指導書も介護計画に反映させている。	介護計画を作成するためにご家族から、歩行状態や生活上の動作の維持を希望される事が多い話をしました。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において、ご家族とは文書や電話にてケアプラン内容を伝える事が多かった。今後は、面談で心身の状態を伝えられ家族の思いが更に反映されたプランにしたいです。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々個別ケアを実践している。利用者のケアの実施は経過記録や健康管理記録表に記入し、職員間で情報共有している。また、日々の記録を介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物を自由に活動する事が出来る環境で、他事業所の職員とも馴染みの間柄になっている。本人や家族のニーズにはその時々で事業所で多様に取り組み対応している。	以前のように3階のサービス付高齢者住宅の入居者様との交流やデイサービスのボランティアレクにも参加出来れば良いです。		今後も柔軟な支援や行事に取り組んでいきます。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は、書面上で運営推進会議を開催しているが、地域の方にも継続して参加して頂いている。地域イベントの開催は自粛しており、地域資源との共同化は難しい。	地域の活動や参加などの地域資源に触れる機会が無かった。今後の感染拡大状況をみて自治会活動や東大阪市民ふれあい祭りなど参加をしていきたいです。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの医師がいれば継続的な医療を受けられるよう支援し、やむなく事業所の協力医療機関の医師をかかりつけ医とする場合は説明し同意を頂いている。また、必要に応じて適切な診療科目を受診できるように支援をしている。			病気に関する事は、入所されている方もご家族の方も安心されていると思います。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院する際は医療・介護情報を早期に提供している。医療機関と主治医の間では情報交換が行われ報告も頂いている。退院の際にはソーシャルワーカーや家族と連絡を取り、入院によるのダメージを最小限に抑えるために協働している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族・主治医・看護師・介護職がそれぞれの役割を心得て連携をとっている。重度化した場合や終末期支援のあり方を話し合いながらより良い選択をしながら家族や医療関係者と連携を取ながらチームで支援している。職員研修やカンファレンスにより情報の共有に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変や事故発生時にも対応できるようマニュアルを整備している。また、応急手当や初期対応は日頃から看護師により指導を受け必要に応じた実践力を身に付けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災隊長が主となり、防災・災害訓練を年に3回実施している。また、非常災害時の研修を実施し職員に周知している。備蓄品の確認や職員が防災活動隊としてそれぞれの役割を担っている。家族や地域の皆様へは、防災の取り組みについてときめき苑だよりや運営推進会議で報告している。	BCP(業務継続)計画を作成中です。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者、管理者、全職員が利用者の人格を尊重し、常に誇りやプライバシーを損ねないように配慮した言葉かけや対応を心掛けている。居室内のプライベート空間を保つような工夫もされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限りその方の生活リズムを大切に、望んでいるペースに合わせた暮らしが出来るよう柔軟に支援を心掛けている。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事をゆったり楽しめるように音楽や映像を用意したり、個人の好みや力を生かした食事形態に配慮し提供している。利用者と一緒に盛り付けや配膳など出来ることを共に行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は、管理栄養士が作成した栄養バランスの摂れたメニューを提供しており食事量を常に把握し栄養の偏りがないよう注意している。利用者の体調や出来る力を理解し介助の方法を工夫している。食事形態についても個別に対応している。水分補給は夜間も可能な限り行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアは、本人の出来る力を活かしながら支援している。個別対応を行い歯科衛生士の指導を職員が受け、数種類の歯ブラシやスポンジブラシ、歯間ブラシを使い分けた口腔ケアを実践している。口腔環境には常に意識している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄を基本に考えた支援をしている。また、排泄チェック表で排泄パターンを把握し、適宜声掛けし誘導、必要な場合介助を行っている。オムツから紙パンツへ排泄の自立に向けた支援を行っている。装着しているパットやおむつは、状態に合わせ日中と就寝時の種類を使い分けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴チェック表を活用し定期的かつ希望に添った入浴が出来るように支援している。季節感を持たせたショウブ湯やゆず湯などでくつろいだ気分で入浴出来るよう配慮している。個々の身体的な状態を見極め、特殊浴槽を利用し負担の少ない入浴支援に努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の中で、安眠・休息ができるように生活のリズムの確保と環境作りに努めている。本人の生活習慣も尊重しつつ、共同生活の中でのストレスなどを職員間で把握するよう努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に内服の支援をしており、服用する薬の目的や副作用、用法や用量について職員は理解するよう努めている。また、薬ポケットに名前シールや食前の札を付けたり、服薬担当を決めて飲み忘れや誤薬の無いよう心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活の中で出来る力を最大限に活かし、自分らしく張り合いのある日々を過ごせるよう個別にパズルや塗り絵などで楽しんで頂いている。屋上庭園で植木や家庭菜園の収穫で気分転換を図ったりしている。	具体例として、入居者様には日常生活の中で、配膳のお手伝いをして頂いていたが、感染予防対策のため現在は中止している事をお話した。他の役割として洗濯物をたたんでもらう等の役割は継続しています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在、戸外への外出は自粛している。可能な限り希望に添った支援を心掛けているが家族様ともオンライン面会の協力をお願いしており、日常的な外出支援が実施できないことご理解頂いている。	コロナ禍であっても感染予防対策に努め、季節を楽しんで頂けるような外出支援を行ってきたいです。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お財布を所持されることで安心される利用者には希望に応じて本人が所持している。また、個人的に買い物希望される場合は職員が買い物代行の支援をしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望により家族や知人への電話の取次ぎも支援している。中には携帯電話を所持されておられる方もおられる。また、季節のハガキや小包などが送られてくる事もあり外部との交流が途絶えることがないように配慮している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室は、使い慣れた家具や馴染みの物、好みの物を配置し居心地良く生活出来るように工夫している。本人が安心・安全に落ち着いた暮らしが出来るよう配置にも配慮している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の思いや願いを日々の生活の中でコミュニケーションを取りながら確認している。何気ない言葉やしぐさで職員が把握し、本人主体のサービスや日々の暮らしに反映できるように取り組んでいる。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入所時に本人の生活歴や背景を家族から聞き取り把握し、日々の生活の中で利用者と関わりながら情報収集し、ケアに活かしている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	常に、コロナ感染予防に努め、看護師や介護職員が日々の変化を把握し健康チェックを行い、利用者が気分や体調不良を訴えやすい環境を整えている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染予防(マスク着用など)を行いながらも、これまでの生活環境による生活ペースに配慮しつつ、健康的な生活習慣を本人に合わせて継続している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	趣味のパズルや塗り絵など馴染みの物を自室に保管し、いつでも生活の中で楽しめるように支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在は、戸外への外出は自粛しており祭事等も開催されていない。	コロナ禍以前は地域の行事、お祭りの地車等をよく見学されていました。		感染防止対策を心掛け、入居者様の希望を汲み取り感染状況をみて支援していきます。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活で本人の出来る事を把握し、お伝いなど役割として、楽しみながら積極的に本人の力を活用している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活の中で利用者同士のスキンシップやコミュニケーションが活動の場で自然に行えるために、安心安全に過ごせる環境作りに取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在は、戸外への外出自粛のため近隣や地域交流は出来ていない。	コロナ禍以前は、地域交流の中で入居者様と地域の方との会話や関わりや友人・知人の来訪があったことを話した。コロナ感染が終息しないと難しいのではないか。		職員が地域との関わりを継続し交流を続けていくことが大切だと感じた。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	グループホームの生活の中で利用者同士また、職員と馴染みの関係も築き、健康管理に多職種が関わり安心した生活を過ごして頂いている。コロナ禍であっても日々の生活がメリハリのある笑顔の絶えない毎日になるよう努めている。	ときめき苑さんは常に地域との関わりを重視されていると思います。入所されている方もとても幸せだと思います。上記の内容や説明を行い『ここまで良くして頂いて、入居者は本当に幸せですね』と言葉を頂いた。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様の生活が、単調にならないよう職員がカンファレンスを定期的で開催している。今後も地域との交流の場があれば参加していき、よりよい日々を送る事が出来るよう支援していきます。